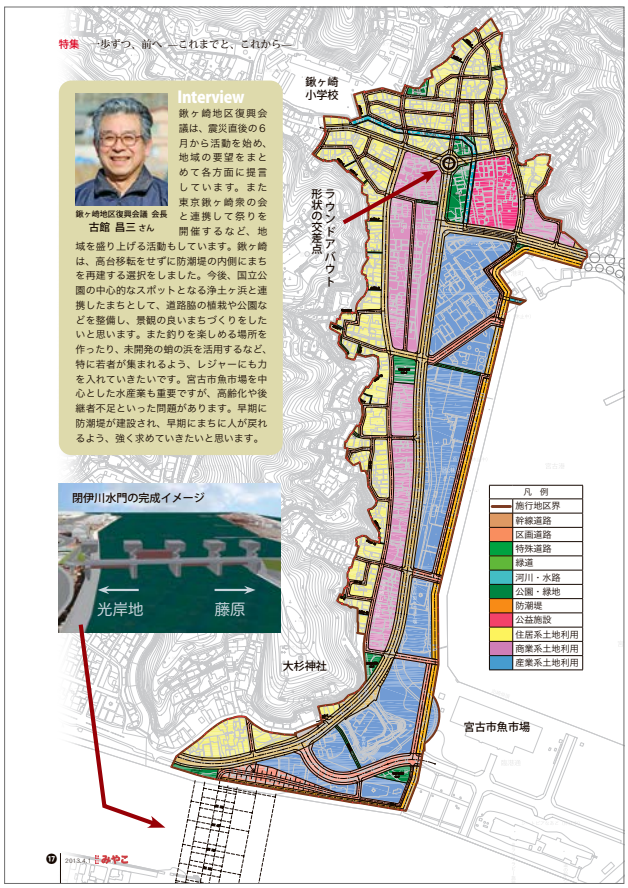
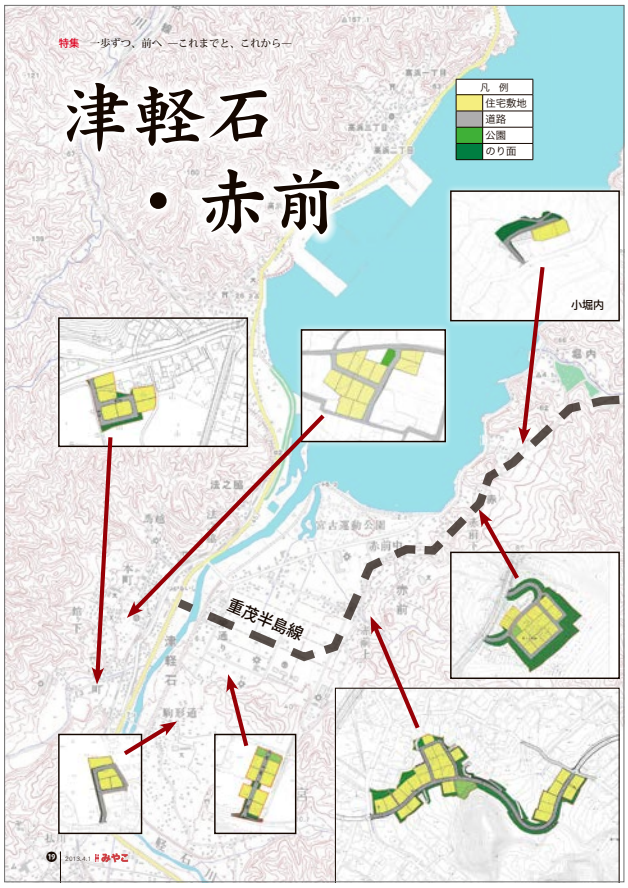
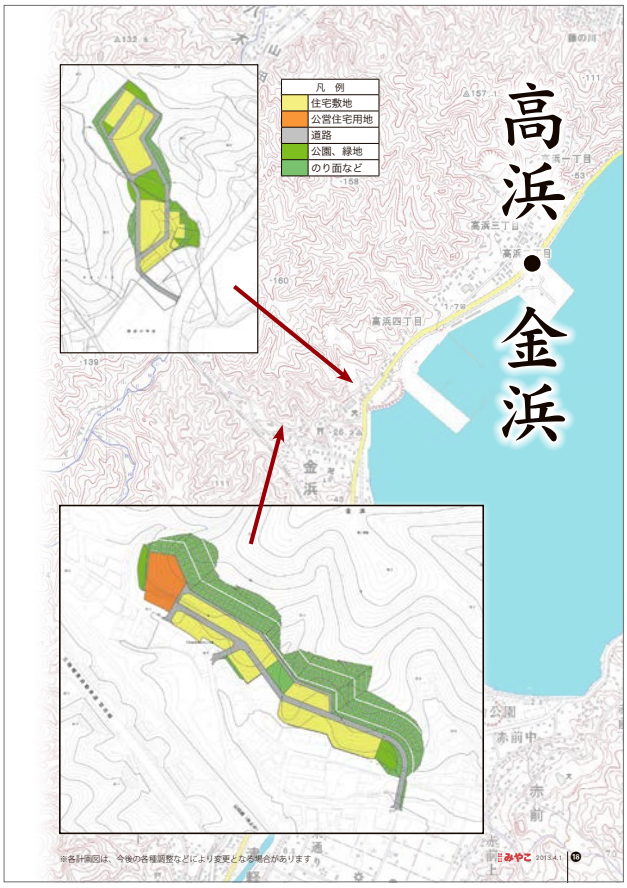
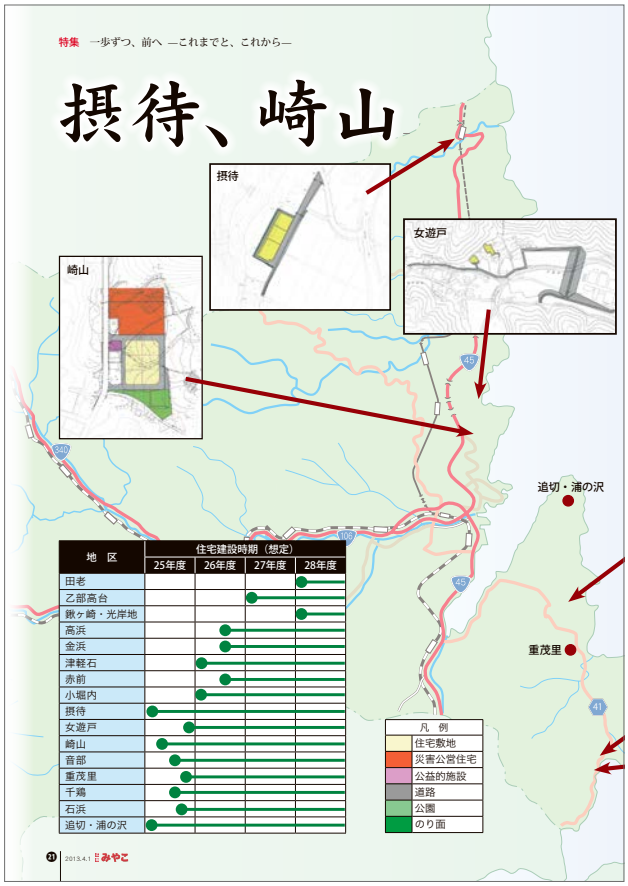

特集　一歩ずつ、前へ―これまでと、これから―
Interview
鍬ヶ崎地区復興会議 会長
古舘 昌三さん
鍬ヶ崎地区復興会議は、震災直後の6月から活動を始め、地域の要望をまとめて各方面に提言しています。また東京鍬ヶ崎衆の会と連携して祭りを開催するなど、地域を盛り上げる活動もしています。鍬ヶ崎は、高台移転をせずに防潮堤の内側にまちを再建する選択をしました。今後、国立公園の中心的なスポットとなる浄土ヶ浜と連携したまちとして、道路脇の植栽や公園などを整備し、景観の良いまちづくりをしたいと思います。また釣りを楽しめる場所を作ったり、未開発の蛸の浜を活用するなど、特に若者が集まれるよう、レジャーにも力を入れていきたいです。宮古市魚市場を中心とした水産業も重要ですが、高齢化や後継者不足といった問題があります。早期に防潮堤が建設され、早期にまちに人が戻れるよう、強く求めていきたいと思います。
鍬ヶ崎小学校
ラウンドアバウト形状の交差点
閉伊川水門の完成イメージ
光岸地
藤原
大杉神社
宮古市魚市場
凡　例
施行地区界
幹線道路
区画道路
特殊道路
緑道
河川・水路
公園・緑地
防潮堤
公益施設
住居系土地利用
商業系土地利用
産業系土地利用
17
2013.4.1
みやこ


完成予想図
鍬ヶ崎・光岸地
土地区画整理事業による復興まちづくり
鍬ヶ崎・光岸地地区は、道路などの公共施設を整備するとともに、安心・安全に暮らすことができる市街地整備を行うため、土地区画整理事業を導入し、産業系、商業系、住居系それぞれが調和するまちづくりを進めます。
ラウンドアバウトをまちのシンボルに
鍬ヶ崎・光岸地地区は、宮古市の中心市街地と浄土ヶ浜を結ぶ道路を中心に整備します。また各方面からの自動車交通が集中する地区北側の交差点では、ラウンドアバウト形状の交差点を計画し、災害時の安全性を高めるとともに、地区のシンボルとしての整備を図ります。
「ラウンドアバウト」とは、円形の道路施設（ロータリー）のひとつで、▽円形車線内を通行する車が優先、▽円形車線内の流れが信号機や一時停止などで中断されない―という特徴を持つ、一方通行による交差点制御方式です。交差点内を直進することができず、必ず左折する必要があるため、進入速度を抑制する効果があるほか、災害時などに停電になっても、信号機が使えないことによる交通の混乱の心配がないことなどが利点です。
防潮堤と水門でまちを守る
鍬ヶ崎・光岸地地区の岸壁付近に防潮堤を新設します。また光岸地区と藤原地区の間に、閉伊川水門を新設します。これらにより、東日本大震災のような最大クラスの津波からも、まちを守ることができます。
18ページからは各地区の住宅用地造成の計画図を掲載します。
長野県飯田市のラウンドアバウト（写真＝飯田市提供）
※各計画図などは、今後の各種調整などにより変更となる場合があります
16
2013.4.1
みやこ

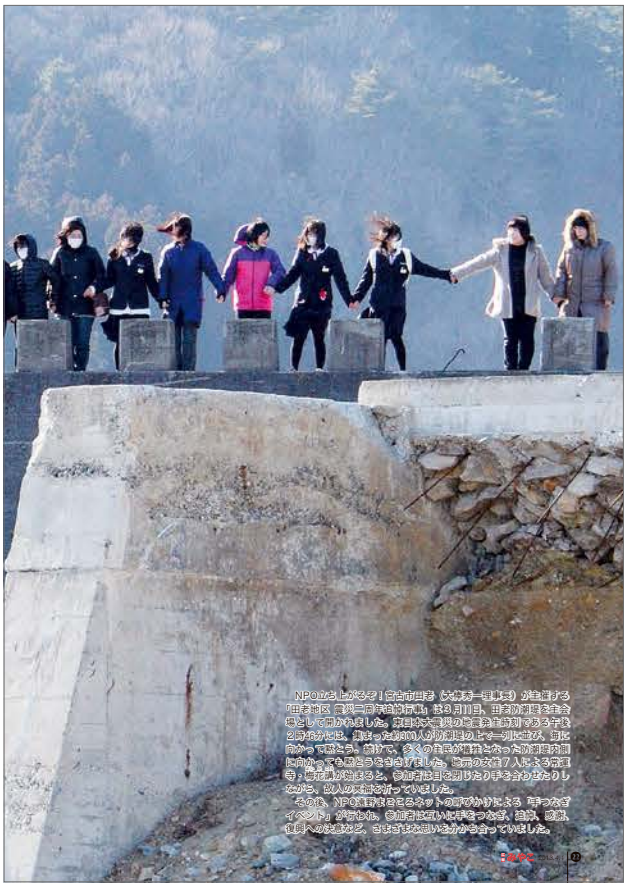

特集　一歩ずつ、前へ―これまでと、これから―
津軽石・赤前
凡　例
住宅敷地
道路
公園
のり面
小堀内
重茂半島線
15
2013.4.1
みやこ


高浜・金浜
凡　例
住宅敷地
公営住宅用地
道路
公園、緑地
のり面など
※各計画図は、今後の各種調整などにより変更となる場合があります
18
2013.4.1
みやこ


特集　一歩ずつ、前へ ―これまでと、これから―
摂待、崎山
摂待
女遊戸
崎山
追切・浦の沢
重茂里
凡　例
住宅敷地
災害公営住宅
公益的施設
道路
公園
のり面
地　区
住宅建設時期（想定）
25年度
26年度
27年度
28年度
田老
乙部高台
鍬ヶ崎・光岸地
高浜
金浜
津軽石
赤前
小堀内
摂待
女遊戸
崎山
音部
重茂里
千鶏
石浜
追切・浦の沢
2013.4.1 広報みやこ


重茂
重茂里
音部
千鶏
石浜
Interview
追切・浦の沢の仮設住宅に住んでいます。仮設の隣に整備される宅地に、住居と作業所を再建します。養殖漁業を営んでいますが、今は仮設住宅の敷地の一部を使わせてもらい、テント小屋を設置して作業をしています。今は採ったワカメを切る作業が主ですが、作業場所が小さいため、どうしても効率が悪くなります。7月頃からはコンブの乾燥作業を始めたいため、それまでになんとか作業所を整備したいと思います。漁港の復旧、道路の整備が進むことを期待します。
漁業 木村 将充さん
追切・浦の沢の宅地造成の様子
※各計画図は、今後の各種調整などにより変更となる場合があります
広報みやこ 2013.4.1


特集　一歩ずつ、前へ ―これまでと、これから―
あの日から――
最初の一年は無我夢中だった。
壊れてしまったまちに立って
ひたすらに行動し続けた。
「復興二年目」と呼ばれた二年目は
見渡す限りの更地の中に
新しいまちの姿を想像した。
そして三年目の春。
さまざまな計画が、目に見える形で動き出す。
復興を加速させるのは、
私たち一人ひとりの強い思いだ。
たくさんの支援に感謝し、
手を取り合って一歩一歩、
前へ、あしたへと、
着実に歩みを進めよう。
「このまちは、みんなでつくったまちだよ」と
子どもたちに誇れるように。
特集終わり
広報みやこ


NPO法人「上がろ！」（宮古市出身・大槻元一理事長）が主催する「田老地区 震災三回忌追悼行事」は3月11日、田老防潮堤を会場として開かれました。東日本大震災の地震発生時刻である午後2時46分には、集まった約300人が防潮堤の上へ一列に並び、前に向かって黙とう。静けさの中、多くの住民が犠牲となった防潮堤内側に向かっても祈りをささげました。地元の女性7人による吟唱や、海笛演奏が始まると、参加者は目を閉じたり手を合わせたりしながら、故人の冥福を祈っていました。
その後、NPO事務局ならではネットの呼びかけによる「手つなぎイベント」が行われ、参加者は思い思いに手をつなぎ、遺族、関係者、復興への決意など、さまざまな思いを力強く語っていました。
広報みやこ

広報みやこ　2013年4月1日発行
被災された事業者対象　各種補助金のご案内

被災された事業者対象

各種補助金のご案内

問い合わせ　市産業支援センター（市役所分庁舎2階、☎69-9092）

被災資産の新築・購入費補助金

東日本大震災で被災された市内の事業者の事業再開を支援します。

■対象者　市内の主たる事業用の建物・設備などが滅失した中小企業者。ただし個人事業主の場合は、市内に住所を有する者。
※市税を完納していること
※事業再開後、3年以内に被災時の従事者数を回復すること
■補助対象　滅失した事業用資産のうち、事業再開に必要な資産（建物・附属設備・構築物・機械および装置）の新築・購入に要する経費に対して補助。
※取得費の合計が100万円以上であること
■補助率　対象経費の2分の1以内（限度額があります）
■申請期限　7月31日㈬
■応募方法　市産業支援センターで配布する申請書で申し込み（申請書様式は市ホームページからダウンロードできます）

設備資与事業補助金

中小企業の設備導入を支援します。

■対象者
【東日本大震災で被災された方】
❶市内に事業所を有する法人
❷市内に住所を有し、市税を完納し、震災により滅失または使用不能となった機械設備と同じ種類の機械設備を導入する事業者
【東日本大震災以後に新規創業された方】
❶市内に事業所を有する法人
❷市内に住所を有し、震災後に設立または開業して1年以内の法人
❸個人で事業計画に基づき継続性が期待される事業を行う事業者
■補助対象　いわて産業振興センターが行う「設備貸与制度」を利用して平成26年2月末日までに機械設備の貸与を受ける場合の保証金（貸与額の10％）に対して補助。

広報みやこ　2013年4月1日発行
田老地区での土地区画整理事業を都市計画決定しました / 重茂地区の災害危険区域説明会を開催します

重茂地区の災害危険区域説明会を開催します

市は、津波による浸水で建物の被害が予想される区域を、「災害危険区域」に指定し、建物の建築を制限します。
指定の内容に関する説明会を次のとおり開催します。
■日時　4月12日㈮午後3時
■会場　重茂漁業協同組合
■対象地区　平浜、立浜、宿浜、重茂里、与奈沢、姉吉、千鶏、石浜、川代地区
なお対象地区の災害危険区域図は、区域の告示後から市都市計画課で閲覧できます。
※市内の他の地区についても順次、災害危険区域を指定していきます
■問い合わせ　市都市計画課計画担当（市役所5階、☎68-9105）

田老地区での土地区画整理事業を都市計画決定しました

市は、被災した市街地の早期復旧、道路や公園など公共施設整備のため、3月15日に田老地区での土地区画整理事業を都市計画決定しました。事業の円滑な施行を確保するため、今後、土地区画整理事業が施行される区域内で建物を建築しようとする際には、都市計画法第53条に基づく建築許可申請を行う必要があります。
◎建物の建築が制限されている区域
田老地区のうち、土地区画整理事業の施行区域 ※15㌻「田老地区土地区画整理事業」で示した区域。計画図は市都市計画課で閲覧できるほか、市ホームページで公開します
◎土地区画整理事業施行区域外での建築行為について
これまで住宅建築などの自粛をお願いしていましたが、上記施行区域以外での建築行為の自粛を解除します。
ただし災害危険区域の指定により、住宅などの建築が制限されている区域、または構造などに制限のある区域がありますので、詳しくは問い合わせください。
■問い合わせ　市都市計画課計画担当（市役所5階、☎68-9105）

広報みやこ　2013年4月1日発行
黒森神楽・南回り巡行　祈りの旅　笑顔を届け





国指定重要無形民俗文化財・黒森神楽は、1月から3月にかけ、本市から釜石市までの沿岸部を巡る「南回り」の巡行をしました。各集落では、家々を回って家内安全や無病息災を祈り、夜は民家などで創作仕立ての演目を交えた「夜神楽」を披露して、集落の住民など大勢の観客を楽しませました。
2月2日に訪れた重茂の石浜では、震災で犠牲となった方々に対し、海に向かって、神楽念仏」で供養をした後、家々の庭先で「権現舞」を舞う「門打ち」をして回りました。夕方になると、「宿」となる畠山さん宅の庭先で「シットギ舞い込み」の儀礼を行い、権現様に上げるシットギ団子の残り汁をオマブリ（お守り）として観客の額や鼻筋につけて回りました。
2月9日には釜石市根浜の宿泊施設・宝来館を宿として夜神楽を披露。多彩な演目に、会場は全国から訪れた観客の笑顔と歓声に包まれていました。

広報みやこ　2013年5月1日発行
区画整理・高台移転　整備予定のお知らせ

区画整理・高台移転 整備予定のお知らせ

被災した地区の区画整理、高台移転のための高台造成について、住宅用地の整備予定をお知らせします。

問い合わせ 市都市計画課復興まちづくり推進室（☎8-9128）

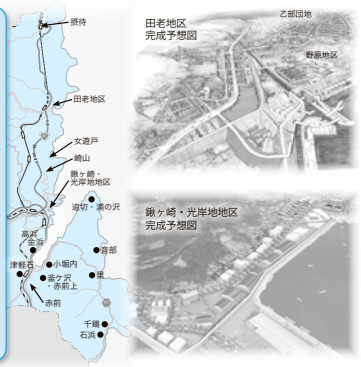
■区画整理・高台移転 住宅用地の予定戸数など　　工事期間 ● 住宅建設開始予定時期

地区		予定戸数	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
田老	摂待	3	●			
	乙部団地	170			●	
	区画整理地内（野原地区を除く）	48				●
崎山	女遊戸	2	●			
	崎山	6	●			
鍬ヶ崎・光岸地（区画整理地内）		95				●
高浜・金浜		55			●	
津軽石		12	●			
赤前	赤前	56	●			
	釜ケ沢団地、赤前上高台団地				●	
	小堀内	2	●			
重茂	追切・浦の沢	2	●			
	音部	3	●			
	里	16	●			
	千鶏	3	●			
	石浜	2	●			

※予定戸数は、意向調査および仮申込書に基づきます。スケジュールなどは、今後の事業進捗により変動する場合があります

鍬ヶ崎・光岸地地区 土地区画整理事業 説明会を開催します

■期日　5月9日㈭
■時間　午後6時30分
■場所　鍬ヶ崎小学校体育館 ※駐車場がありませんので、できるだけ車以外の移動手段でお越しください。校庭への車の乗り入れは禁止します
■内容　①本年度の事業スケジュール、②土地買い取りの状況　など
■対象　鍬ヶ崎・光岸地区の土地所有者など
■問い合わせ　市都市計画課復興調整担当（☎68-9105）



※各地区の計画図などは広報4月1日号14～21㌻に掲載しています

災害公営住宅建設予定のお知らせ

災害公営住宅 建設予定のお知らせ

県と市が建設を進めている、災害公営住宅の建設予定戸数、入居予定時期などをお知らせします。

問い合わせ 市建築住宅課災害公営住宅室（☎8-9133）

災害公営住宅は、東日本大震災で住まいを失い、自宅の再建のめどが立たない方のために建設される住宅で、10年経過後は通常の市営住宅となります。地区ごとの建設予定戸数などは下の表の通りです。

※入居の申し込みは、まだ開始していません。受け付け開始の時期は、あらためて広報などでお知らせします

災害公営住宅の入居要件

災害公営住宅に入居するためには、次の❶～❸の全ての条件に該当することが必要となります。

❶平成23年3月11日に住んでいた住まいが、地震・津波により滅失した（全壊・大規模半壊など）
❷現在、仮設住宅などに住んでおり、今後の住まいに困っている
❸暴力団員でない

【注意事項】
○一度入居してから、他の公営住宅（県営、市営、災害公営）に住み替えることはできません。入居により、住宅再建と見なされます。
○家賃のほか、月々の共益費（エレベーターや外灯の電気代など）を負担していただきます。
○入居の際は、敷金（家賃の3カ月分）と連帯保証人が必要です。
○公営住宅は原則としてペット禁止です（ペット可の住宅を、近内に計画しています）。

■災害公営住宅　建設予定戸数など　　建設予定期間 ● 入居予定時期

地区	入居希望戸数（計793）	建設予定地		建設予定戸数（計793）	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
田老	122	乙部高台		66			●	
		区画整理地内		45			●	
崎山	20	崎山		24		●		
鍬ヶ崎・光岸地・築地・愛宕	109（内、鍬ヶ崎75）	日の出		48		●		
		佐原		50		●		
		区画整理地内		40		●		
中心市街地	366	本町		33		●		
		上鼻		30		●		
		西町		20		●		
		宮町		20		●		
		近内	1号棟	40	●			
			2号棟	40		●		
		西ケ丘		24		●		
		山口		24		●		
		その他		50		計画中		
藤原・磯鶏	76	磯鶏		20		●		
		八木沢		50	●			
		その他		24			●	
高浜・金浜	29	高浜		12	●			
		金浜		16			●	
津軽石	30	津軽石		40		●		
赤前	20	赤前		18		●		
重茂	4	重茂		5	●			
その他	17	—		54	計画中			

広報みやこ　2013年5月1日発行
安倍晋三首相が本市を視察

安倍晋三首相が本市を視察

安倍晋三首相は4月6日、本市と山田町を視察しました。田老防潮堤の上で黙とうをささげ、山本市長が被災状況や高台移転事業などを説明。その後、田老魚市場の塩蔵ワカメの箱詰め作業を視察し、「皆さん、一緒に頑張りましょう」と、作業員らを激励しました。また田老町漁協の小林昭榮組合長の「60年かけて築いた漁港が全て破壊された。早期の復旧が必要」という訴えにうなずいていました。


復興事業について質問する安倍首相（中央）

視察後、山本市長が安倍首相に復興事業に関する要望書を手渡し、早期の復旧・復興実現に向けた支援を要請しました。

広報みやこ　2013年5月1日発行
グリーン復興プロジェクト「三陸復興国立公園」5月24日に誕生します



みちのく潮風トレイル

グリーン復興プロジェクトの一つとして進んでいるのが、長距離自然歩道「みちのく潮風トレイル」の設定です。"トレイルとは「歩くための道」。歩くスピードで旅することで、車の旅では見えない風景、歴史、風俗や食文化などの奥深さを知り、体験する機会を提供するものです。

みちのく潮風トレイルの計画ルートは、青森県八戸市蕪島から福島県相馬市松川浦までの全長約700㌔。自然歩道以外にも林道など既にある道を活用し、準備が整った地域から段階的に路線を設定します。集落地を通る路線では、災害時の避難路としても活用できる仕様を検討します。

Interview

踏破モニターとして平成24年12月1日に蕪島を出発し、平成25年3月16日に松川浦に到着しました。ゴールしたときはお世話になった方々の顔がよぎり、「これで本当に終わるんだな」と寂しい気持ちになりました。また会いたいし、恩返ししたいと思います。実際にトレイル予定コースを歩いてみて、東北の魅力をたくさん感じました。地元の人が気付いていないものもあるかもしれません。たくさんの人が歩いて、一緒にいいまちづくりができたらいいなと思います。私の周りにも東北に興味のある人が多いので、どんどんアピールしていきたいと思います！

早稲田大学4年
後藤 駿介さん

後藤さんの日記（抜粋）

12月28日（金）
昨晩は浄土ヶ浜に泊まりました。人気がない。「なんか全然なのに観光客多いな。さすが観光スポットやな。」と思って泊まってみると、"よくおでんすも！"と観光の旅を持ってニコニコしながらこっちを見ているんもたちが！後ろを振り返っても僕しかいない。「あ、これはもしかして僕を観光してくれてるのか！」って気づいたときにはなんか涙れくらい感動でこらえしかったです。

12月30日（日）
本州最東端の地を目指して歩いていると、重荷過酷でこんな景色に出合いました。ほとんどの動に寒年の大地新鋭の岩が静ってあります。こりゃスゲーと動に泊まってみると動の中から明るい声が聞こえてきました。

僕は、その明るい声に呼び込まれるように動に向かって歩いていました。「寝袋撮らしてください！」と話しかけると、動の中で過酷の方々んがビールを飲んでいました。お歳会だとわかります。過酷の方が僕を動の中に招いてくれて、お歳れ会の仲間に入れてくれました！

※後藤さんの全日記はホームページ（http://www.tohoku-trail.go.jp/）で公開されています。ぜひご覧ください！

グリーン復興プロジェクト

「三陸復興国立公園」5月24日に誕生します

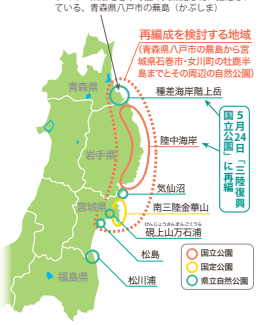
いよいよ誕生する新しい国立公園と、環境省が進める「グリーン復興プロジェクト」を紹介します。

問い合わせ　環境省宮古自然保護官事務所（☎0193・63・9112）

「三陸復興国立公園」指定

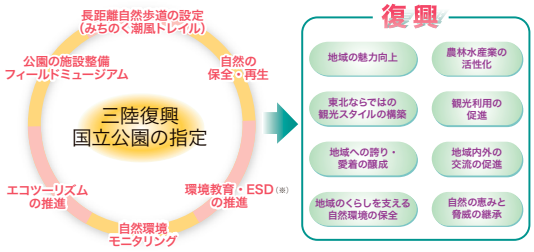
5月24日㈮に、青森県の種差海岸階上岳県立公園の順次編入が陸中海岸国立公園に編入され、名称が「三陸復興国立公園」になります。さらに宮城県の南三陸金華山国定公園と3つの県立自然公園が検討されています。公園の名称は、復興状況を見て、将来的にふさわしいものを検討します。


ウミネコ繁殖地として国の天然記念物に指定されている、青森県八戸市の蕪島（かぶしま）



グリーン復興プロジェクト

東日本大震災の復興に貢献するため、環境省では平成24年5月に「三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興」のビジョンを策定しました。自然環境と地域の暮らしを後世に伝え、自然の恵みと脅威を学びつつ、それらを活用しながら復興することを提唱しています。具体的な取り組みとして「三陸復興国立公園の指定」を中心とした7つのプロジェクトを掲げています（下図参照）。



グリーン復興プロジェクトが目指すもの

※ＥＳＤ＝持続可能な開発のための教育（Education for Sustainable Development）
※各プロジェクトの詳細については環境省ホームページ（http://www.env.go.jp/jishin/park-sanriku/）をご覧ください

広報みやこ　2013年5月1日発行
感謝・祝福の笑顔咲く　たろちゃんハウス祭り



広報みやこ　2013年5月15日発行

「生」を描いた物語に感動　舞台「HIKOBAE」/
色鮮やかな町並みを復元　記憶の街ワークショップin田老

「生」を描いた物語に感動
舞台「HIKOBAE」

震災で被災した福島県相馬市の医療現場を描いた舞台「HIKOBAE（ひこばえ）」の公演は3月23日、市民総合体育館で開催されました。「ひこばえ」とは古木の切り株や根元から生えてくる若芽のこと。消防団員の恋人を津波で失った看護師や、母国に帰還するべきか苦悩する留学研修医らが、悲しみながら懸命に「生」と向き合う物語に、約300人が訪れた会場は感動に包まれていました。


藤原小学校の児童（右から6人）も熱演した舞台


思い出話に花を咲かせながら模型に色を塗る来場者

色鮮やかな町並みを復元
記憶の街ワークショップin田老

震災前の町を白い模型で復元し、記憶をたどりながら色を塗り、かつての町並みをよみがえらせる「記憶の街ワークショップin田老」は4月9日から14日まで、田老公民館やグリーンピア三陸みやこで開催されました。地元住民など延べ約800人が参加。「桜がきれいだった」「みんなで鬼ごっこをした」など、思い出を振り返りながら色を塗り、色鮮やかな町並みを復元していました。

広報みやこ　2013年6月15日発行

田老地区での土地区画整理　事業計画を決定しました

田老地区での土地区画整理事業計画を決定しました

問い合わせ　市都市計画課・復興まちづくり推進室（☎69-9128、復興調整担当（☎69-9105）、計画担当（☎69-9108）

市は、被災した市街地の早期復旧および、道路や公園など公共施設の整備改善のため、5月28日に田老地区での土地区画整理事業の事業計画を決定しました。事業施行期間は、平成33年3月31日まで（清算期間、5年を含む）です。

今後は、次の事にご注意ください。

❶建築行為が制限されます

土地区画整理法第76条により、換地処分の公告の日までは、施行地区内で施行の障害となるおそれがある行為を行おうとする人は、県知事の許可が必要となります。

❷所有権以外の権利の申告が必要です

土地区画整理法第85条により、施行地区内の宅地で所有権以外の登記されていない権利を有している人、または有することになった人は、その権利の種類および内容を、市に申告する必要があります。

❸基準地積の更正の申告ができます

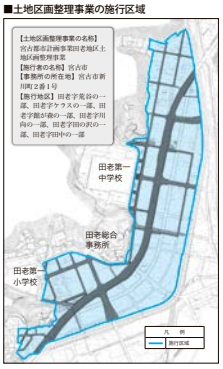
宅地の所有者または所有権以外の権利を有している人は、基準地積と実測地積が異なる場合、地積の更正を、定められた書面により、7月26日㈮までに申請することができます。

❹土地区画整理審議会を設置します

土地区画整理事業は、事業の内容が個人の財産に関わることから、十分に関係権利者の皆さまの意見を聞きながら、土地区画整理法に基づいて進められます。そのため施行地区内の権利者を代表した人が委員となる土地区画整理審議会を設置します。

※事業計画の図書は、換地処分の公告の日まで、市都市計画課（市役所東側駐車場内・都市整備部第2事務所）で縦覧します

■土地区画整理事業の施行区域



Public Comment
「都市計画道路の見直しに関する基本方針（案）」へのご意見を募集します

市は、市内の都市計画道路の見直しに関する基本方針案をまとめました。次の通り閲覧を実施し、皆さまからご意見を募集します。

いただいたご意見は、基本方針策定の参考にします。ご意見の概要と、これに対する回答は公表します。

■**基本方針（案）の閲覧場所**　市役所1階市民ホール、田老・新里・川井総合事務所　※市ホームページでも閲覧できます

■**閲覧・意見募集期間**　6月17日㈪～7月8日㈪　※必着

■**提出方法**　▽住所、▽氏名（団体名）、▽電話番号―を記入の上、閲覧場所に備え付けの提言箱、郵送、ファクス、電子メールのいずれかで提出してください

■**提出先・問い合わせ**　市都市計画課計画担当（〒027-8501住所不要、☎68-9108、FAX63-9118、✉toshi@city.miyako.iwate.jp）

広報みやこ　2013年6月15日発行

被災地励ます本場の踊り　阿波踊り団体が来宮

被災地励ます本場の踊り
阿波踊り団体が来宮

本市と友好提携都市を締結している徳島県神山町の阿波踊り団体「桜花連」（鳥庭宏通長）ほ5月3・4の両日、本市を訪れました。同団体に所属する小学1年生から50代までの33人が「ヤットサー」の掛け声に合わせて本場の阿波踊りを市内10カ所で披露。浄土ヶ浜で一緒に踊った扇田英子さん（日の出町）は「昔から踊ってみたかった」と拍子で乗りやすい」と息を弾ませていました。


浄土ヶ浜をバックに踊る桜花連の子どもたち

広報みやこ　2013年7月1日発行

ロックバンド一同に熱く燃えた一日　パワーストック in 宮古



ロックバンド一同に熱く燃えた一日
パワーストック in 宮古

ロックフェスティバル「パワーストック in 宮古2013」は6月9日、宮古市魚市場の機接地に造られた特設会場で開催されました。他県からも大勢の若者らが詰め掛け、熱いステージに熱狂。花巻市から訪れた三浦悠真さんは「最高！また来たい。興奮冷めやらぬ様子でした。

同フェスは震災直後の平成23年6月、ライブハウスクラブカウンターアクションが札幌市で運営するBREAKER NAMBA（大阪）、LOW IQ & THE BEAT（札幌市）、KOさんの呼びかけで開催され、今回の開催は2年ぶり。バンド「SLANG」として自身も出演したKOさんは「今後も継続して開催したい。地元の人にももっと来てもらえればと思いを込め、ファンに握手で応えていました。

出演バンドは次の通り。

「Idol Punch」「OVER ARM THROW」「THE PRISONER」「宮矢」「BEYONDS」「千生狼」「Shadows」「織姫」「渡辺俊美」「Kan Yokoyama」「SLANG」「LOW IQ & THE BEAT」「BREAKER NAMBA(K)」「tosoFrank」「Hawaiian6」「BRAHMAN」（出演順）

熱いステージを楽しむ若者たち

全国から集まった若者らで会場は埋め尽くされた

■発行　宮古市　■編集　総務企画部企画課　■印刷　株式会社文化印刷
〒027-8601　岩手県宮古市新川町2番1号　☎0193-62-2111　FAX 0193-63-3114　http://www.city.miyako.iwate.jp/

宮古市からのお知らせをモバイルメールで配信中（毎月1日・15日）

目の不自由な方に広報などの録音テープを無料で貸し出しています（宮古盲声訳の会☎兼岡72-2537）

広報みやこ　2013年8月1日発行

商店街に活気あふれる　宮古市街なか復興市


買い物などを楽しむ来場者でにぎわう会場

商店街に活気あふれる
宮古街なか復興市

宮古街なか復興市2013（同実行委員会主催）は6月8・9の両日、末広町と中央通の商店街で開催されました。歩行者天国となった会場では野外販売のテントが立ち並び、ステージイベントや路上パフォーマンス、街なか潮干狩り大会など多彩な催しが来場者を楽しませました。8日には商店街の各店舗が100円の商品・サービスを提供し店を知ってもらう企画「宮古街なか100円商店街」も同時開催され、会場は活気にあふれていました。

再開待ってた2年4ヶ月ぶり　シートピアなあど リニューアルオープン



広報みやこ　平成25年8月1日　№191

再開待ってた
2年4カ月ぶり
シートピアなあど リニューアルオープン

新鮮な野菜を買い求める来場者

観光拠点の復活を祝う力強い音色が響いた

東日本大震災の津波で全壊した宮古市広域総合交流促進施設「シートピアなあど」は7月6日、2年4カ月ぶりにリニューアルオープンしました。

関係者約130人が出席したオープニングセレモニーで山本市長は「観光都市宮古のシンボルとして、全国にアピールしていきたい」とあいさつ。その後、テープカットで再開を祝福しました。セレモニー後には産直農産物や土産物などの販売が開始し、観光客や待ちわびた地元客が、長い列を作っていました。沢田から訪れた木村キエさんは「震災前から買い物に来ていた。施設が復活してうれしい」と喜んでいました。

同施設は鉄筋コンクリート2階建て。1階に産直農産物や土産物などの販売、観光情報提供コーナー、2階にレストラン、体験学習室などがあり、震災前と同様の造りになっています。また震災時の津波浸水深を示す看板や避難所を示す看板を設置し、震災の教訓を刻んでいます。

宮古市からのお知らせをモバイルメールで配信中（毎月1日・15日）
目の不自由な方に広報などの録音テープを無料で貸し出しています（宮古音声訳の会☎兼岡72－2537）
みやこ 2013.8.1 20

広報みやこ　2013年9月1日発行

クローズアップ　宮古ひまわり基金法律事務所に着任　弁護士 吉水和也さん



地域の方々の身近な相談相手になりたい

弁護士過疎地の解消を目的に平成16年3月に開設された宮古ひまわり基金法律事務所に7月22日、新たに吉水和也弁護士が着任しました。10月末で退任する小口幸人弁護士の後任に当たります。

田老地区出身の吉水さん。昔から人の助けになることがうれしかったといいます。高校時代、弁護士過疎地である本市の状況を危惧し、困っている人の助けになりたいとの思いから、弁護士になる道を目指しました。

大学を卒業後、平成22年に弁護士登録し、東京都の法律事務所に2年半勤務。本市を離れている間も友人とキャンプに訪れたり、帰省した際には昔なじみの友人と遊んだりし、ふるさとを大切に思っていました。

そんな中、東日本大震災が発生。田老地区にあった実家も流され、多くの知人も被災しました。当時東京都で在勤中だった吉水さんは「もともと地元に帰り貢献したいと思っていたが、震災があったことでよりその思いを強くした。震災直後に力になれなかったという思いもあり、その分、市民として地元に恩返ししたい」と、抱負を語ります。

着任して1カ月が経過しましたが、「震災関連の相談はもちろん、生活に密着した相談が多いように感じる。地元出身ですし、地域の方々の身近な相談相手になりたい」と、意欲を見せます。

震災当時、県内に在住していた人は無料で法律相談を受けられる制度もあります。「弁護士と聞くと少し構えてしまう人もいるかもしれないが、この機会に気軽に相談に来てほしい」と、呼びかけています。

◎問い合わせ
宮古ひまわり基金法律事務所（宮町一丁目3番5号、陸中ビル2階、☎㉑1217）

優しい笑顔で出迎える吉水弁護士

御霊の鎮魂と復興を祈願　宮古夏まつり



広報みやこ　平成25年9月1日　№193

「えいさ！」と、力強い掛け声とともに巡行する担ぎ手

大漁旗をなびかせながら周遊する定置網漁船

4団体が参加した市民手踊り

御霊の鎮魂と復興を祈願
宮古夏まつり

古夏まつり（宮古夏祭協賛会主催）は7月27・28の両日、市中心部や宮古市魚市場で開催されました。

宮古駅前広場や末広町商店街などでは、郷土芸能の披露、大神輿や市民手踊りの巡行などが行われたほか、飲食物やくじなどの出店が並び、時折雨がちらつく天気にも関わらず多くの人が訪れました。南町から訪れた盛田リサ子さん（74歳）は「毎年楽しみに見に来ている。天気が心配だったけど中止にならなくてよかった」と安堵の表情。

また28日には宮古市魚市場で曳舟まつりが開催され、定置網漁船4隻が湾内を周遊。震災からの一日も早い漁業復興を祈っていました。

宮古市からのお知らせをモバイルメールで配信中（毎月1日・15日）
目の不自由な方に広報などの録音テープを無料で貸し出しています（宮古音声訳の会☎兼岡72－2537）
みやこ 2013.9.1 20

広報みやこ　2013年9月15日発行
市民に愛される放送に　みやこハーバーラジオ開局


キャトル2階のスタジオで放送する及川代表取締役（右）ら

市民に愛される放送に
みやこハーバーラジオ開局

本市初となるコミュニティ放送局・みやこハーバーラジオ（周波数FM82.6メガヘルツ）は8月26日、開局しました。キャトル宮古2階のスタジオ前に集まった多くの市民らが注目する中、正午に放送開始。同ラジオを運営する宮古エフエム放送の代表取締役・及川育男さんは「市民に愛される放送局になるよう、主婦や学生など、さまざまな市民と一緒に番組を作っていきたい」と話していました。

広報みやこ　2013年10月1日発行
クローズアップ　インターハイヨット競技で優勝・準優勝
宮古高校・宮古商業高校 ヨット女子



佐賀県唐津市で行われた全国高校総合体育大会（インターハイ）ヨット競技で、宮古高校女子が優勝、宮古商業高校女子が準優勝に輝きました。全国の舞台で宮古勢が1、2位を占めたのは初の快挙です。震災から3度目の挑戦での栄冠に、市民からも「被災地に元気を与える、復興に向かう宮古の底力を見せてくれた」と大きな拍手が送られています。

大会は8月16日から20日まで開かれました。種目はFJ級（2人乗り）のソロとデュエットで、宮古高校からは女子、宮古商業からは2艇が出場。ソロは同一校の上位2艇の合計得点を競いました。

レースは序盤から宮古勢の活躍が目立ち、終盤でも宮古高校が2レースをトップでゴール。結果、ソロ競技で宮古高校が3位（入賞）、5位、13位、宮古商業が5位（入賞）、12位となり、上位2艇の得点で他校を圧倒的に引き離した宮古高校が優勝。宮古商業も常に上位をキープし2位となりました。同じ水域で活動するチームが全国大会で入賞したのは1999年の岩手インターハイ（優勝宮古高校女子、3位宮古商業女子）以来14年ぶり。両校の栄誉をたたえる報告会が8月26日に市役所前で開かれ、多くの市民から大きな拍手と歓声が送られました。

優勝した宮古高校の伊藤未波さん（3年）は「津波で全ての用具が流され、何も無い状態から活動を始めた。自分たちも切磋琢磨してきたが、優勝できたのは皆さんのおかげです」と感謝を述べ、ソロ3位に入賞した千葉百華さん（3年）は「コーチ、OB、仲間に支えられて優勝できたことに感謝したい。また、同じ宮古湾で活動する仲間が入賞できたこともうれしい」とライバル校の栄誉もたたえました。

「練習よりも早く現地に入って練習を重ねたことが良かった。入賞できてうれしい。2位になったことで、これまでの多くの支援に感謝を伝えられた思う」と笑顔を見せていました。

宮古湾で練習を行う選手たち

広報みやこ　2013年10月1日発行
みやこハーバーラジオ元気に放送中です



みやこハーバーラジオは、東日本大震災直後から放送を続けてきた臨時災害FM局を、コミュニティFM一地域密着型のFM放送）に移行する形で誕生しました。

放送設備は市が国の補助事業を活用して整備することし3月に設立した宮古エフエム放送株式会社が運営主体として設備を借り受け、放送しています。

メーンスタジオは宮古駅前の商業施設「キャトル宮古」2階にあり、ガラス張りで誰でも自由に放送の様子を見ることができます。4人の女性スタッフが、報道、防災、教育、娯楽、生活、行政、観光などの情報や復興に関する情報を伝えています。

また同ラジオは、本市で災害が発生した時には市の要請を受けて災害情報を伝えるほか、大規模災害発生時には同社と市が締結した協定に基づき、災害局として放送活動を行います。緊急時には市から潮り込み放送も可能で、市と連携して災害情報を伝えていきます。

みやこハーバーラジオの合言葉は「あなたのとなりに。リスナーに寄り添い、元気に放送しています。

広報みやこ　2013年10月15日発行
三陸ジオパークが認定・誕生！ / ゆるキャラグランプリにサーモンくんみやこちゃんが出場！



貴重な地質・地形を保護し、自然公園として教育や観光に活用する「日本ジオパーク」に、三陸ジオパークが認定されました。

三陸ジオパークは、青森県八戸市から宮城県気仙沼市までの約300㌔にわたり、国内で最大のジオパークとなります。リアス式海岸特有の自然景観をはじめ、5億年前から現在に至る連続的な地層、繰り返されてきた津波災害の遺産など、全体で130カ所のジオポイント（見どころ）が設けられました。

市では三陸の自然景観などを後世に伝えるとともに、ジオパークをテーマとした観光振興などを進めていくことで、復興の加速化や地域の活性化、交流人口の拡大に結びつけていきます。

皆さんで一緒に三陸地域を盛り上げていきましょう。

■問い合わせ　市商業課観光課もてなし観光担当（☎68-9091）

本市内のジオサイト・ジオポイント

ジオサイト	ジオポイント
浄土ヶ浜	浄土ヶ浜
	潮吹穴
	日出島
	ローソク岩
重茂半島	鮎ヶ崎
田老の防潮堤	田老の防潮堤
	たろう観光ホテル跡
	中の浜キャンプ場施設の一部
	津波到達点
	津波記念碑（明治・昭和）
早池峰山	早池峰山
	薬師川渓流の古生界
三王岩	三王岩
	腹帯の混在岩
	崎山貝塚
	黒森神社

※「ジオサイト」は見どころとなる地域全体を示し、「ジオポイント」はその中の名勝地などを指します

ゆるキャラグランプリにサーモンくん・みやこちゃんが出場！

■問い合わせ　市水産課水産振興担当（☎68-9099）

市の水産物消費拡大PRキャラクターのサーモンくん、みやこちゃんが「ゆるキャラグランプリ2013」に出場しています。みなさんの投票をよろしくお願いします。※ゆるキャラグランプリとは、インターネット投票でゆるキャラトップ10を決める大会。歴代優勝キャラクターは「ひこにゃん」「くまもん」など

■投票方法　同グランプリホームページ（http://www.yurugp.jp）から、パソコンまたはスマートフォン、携帯電話などで、1つのメールアドレスにつき1日1票投票できます。